



熊本大学応援団 OB 会だより

50 周年記念 OB 会特集

平成 28 年 (2016 年) 12 月 1 日発行

熊本大学応援団創立50周年記念事業を開催して

OB 会会長 7代 河村 久幸

熊本大学応援団創立50周年記念事業に遠方からも多数ご参加いただき大変ありがとうございました。厚く御礼を申し上げます。

通常のOB会は約50名程度の参加ですが、今回は80名の参加していただき、更に嬉しかったのは参加できなかったOBから運営費納付しての参加が70名だったことです。本当にありがとうございました。

創立50周年記念事業は次の4事業でしたが無事すべて終了できました。これも皆様のご協力のお蔭です、特に中野広報部長はじめ事務局の皆様のお蔭だと御礼申し上げます。

①現役応援団へ50周年記念支援活動事業

団旗、横断幕、活動費の贈呈をしました。5年程前に、故和田名誉会長から50周年では現役に何か記念品を贈呈しようと提案あり、資金カンパと団旗の図柄で苦労したのを思い出します。結局資金はOBのカンパと山田さんのご協力で、図柄は田村先輩の言葉で創団当時の団旗図柄に決定したのを思い出します。和田先輩もきっと喜んでおられると思います。

②剛毅（50周年記念号）の制作事業

中野広報部長のIT能力の高さにご苦労で完成したものです。懐かしい写真がいっぱいあり、OBにとっても昔を振り返るとともに嬉しいもので、とても素人の作品とは思えない出来栄でした。また、原田学長、古島副学長、吉本体育会委員長寄稿ありがとうございました。

③記念OB演武会の開催事業

目的は、現役が熊大応援団には素晴らしい演武あることを知らない、出来ない状況の中で、それを披露すること、被災した熊大と現役にOBからエールを送ることでした。

リーダーの平均年齢は60才以上でしたが、現役時代より良かったと思いましたが、感動もしました。僕も「巻頭言」のリーダーをしましたが2日程筋肉痛でした。しかし気持ちいい充実感がありました。

④記念祝賀会の開催事業

楽しい祝賀会でした。時間を忘れ2次会、3次会での宴会場の店主たちが応援団の結末にビックリされていました。

演武会の様子は、TVでは10月31日からRKKで約10分間放映、熊日新聞では11月4日朝刊に大きく掲載され、知人から何人からも「見ましたよ」と言われて嬉しかったです。現役中心でしたので応援団のイメージアップになり目的は達成できたと思えました。

今後熊本大応援団OB会は、創立50年を迎えたのを機にOB会の存在意義を改めて



考えてみたいと思います。現在の応援団の課題は何か？それは団員不足です。この問題解決のために現役に何かできないかを考えていきます。この50周年記念OB会を団員確保を応援するスタートの日にします。皆様のご協力をお願いします。

皆様全員のご協力に感謝・感謝です。ありがとうございました！



祝賀会会場 メルパルク熊本にて H28.10.29(土) 18:30~



チアリーディング & マーチングメロディー
OB 記念演武会 (14:30~16:20)

H28.10.29(土)

熊本大学 体育館にて

記念 OB 会に参加して

熊本大学応援団 50 周年を記念して

初代 副島 靖英

武夫原の南西に今の体育館はある。50 年前は丁度反対側の北東の少し小高い場所に、それはあった。木造で白いペンキが塗ってあり、広くはなくボクシングジムを少し大きくした位で、今であったら「体育館」という名称は与えられずに体育倉庫が妥当だろう。

人は年月を計る時、何を基準とし、その隔たりを実感するのだろうか？私の場合は建造物であったり、人だったりする。建造物は時を止めるように在るが、人は時の流れの中にあるように思う。応援団の一回生が、学ランからやがて背広姿で OB 会にやって来、納得しつつ驚く。後ろから来る人の成長で、自分の時を計り、その年月の速さを思い知る。

応援団が 50 年の時を超えて今の地点にたどり着いたことに感動を感じる。創生と守成どちらも難しい。その時代、時代に要求されるものを発見し、創生という部分がなければ守成はなかっただろう。この 50 年は代々受け継ぐだけでなく、その時代に携わった者の創生の連続があった。

進むより、とどまることのほうが困難であることを知っては



いる。しかし、それを実行に移すことは更に難しい。応援団がじつと耐えてとどまった時期を乗り越えて、50 周年を記念して演武会が開催されたことに心打たれる。これで、初代団長の和田英樹に嬉しい報告ができた。現役諸君の健闘を祈る。

創立 50 周年記念事業に参加して

6代 林 和徳

河村会長以下役員の方々大変ご苦労様でした。なかでも中野広報部長の活躍に大いに感謝です。企画・実行共に素晴らしい内容であり、

和田先輩にも褒めていただけるものであったと思います。私も演武のリーダーに指名され、無事演じ切ることを心に誓い、毎日、学生時代を真似て、朝練・昼練・夕

練で演武会に備えました。若い頃のような輝きはありませんでしたが、この年代としての輝きを充分発揮でき達成感を味わいました。

また、新たなスタートの年にリーダー部に一年生の女性団員が入部したことは非常に喜ばしいことであり、既に関西の 2 大学では女性団長が誕生・活躍しています。その陰には OB の支援があるようです。チア部同様にリーダー部も女性が大いに活躍でき、今後、縦横の繋がりを深め、1 桁から 2 桁代へと世代交代し、現役・OB が輝けることを祈念します。最後に、皆さんにとって、これからも応援団が「まほろば」であらんことを！



OB と現役の心がひとつになった演武会

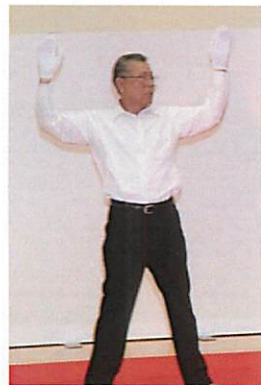
8代 長谷 政晴

OB の皆さん、お疲れ様でした。事務局の一員として、無事終了できて良かったです。先日の土日は久しぶりに、庭の手入れをしました。自分の気持ちがホッとして、穏やかであることを感じました。その一方で、やはり演武会を皆でやれた高揚感は今も続いています。演武や学生歌、応援歌は（それぞれに年をとった）今も我々を鼓舞し続けているのだと感じています。さて、当日を振り返ってみます。

いよいよ OB 会の日を迎えた。これまでの演武・歌詞の個人練習で、朝から心は応援団仕様となっている。すばらしい快晴に心が沸き立。きつといい一日になるという予感。会場の熊大体育館は、練習から OB の熱気がすごい。我が立田班は古賀先輩をはじめとする精鋭揃い。よしやるぞ、しかし他の班の声が入り乱れ、特に易水と熊大同期の桜のハミングが聞こえない。皆必死で聞き取りながら、演武を確認する。同期の桜 3 番で手をぐるぐる回す時に、手の平を返すのかそのままかを話し合う。田村先輩の「そげん、むづかしかことができるか。バラバラな動きを合わせることが第一！」の鶴の一声で決まり。通しの練習のあと太鼓の河口君が、思った以上に合っていると伝えてくれて少し安心した。

演武会が始まる。我々立田班は、最初の演武班として気合いは入れたつもりだったが、どうだったろうか分からない。易水の 2 番の歌詞を間違っ痛恨のミス。リーダーの宇治野くんや他の皆に申し訳なかった。会長の「かなりレベルが高かったぞ」という言葉に少し救われた。各班とも演武はそれぞれ見事だった。翠巒と勝利への拍手は引き込まれた。次々と気迫あふれる演技が続いて、見ていて途中涙がこぼれた。5 人の司会担当 OB もそれぞれの思いを語り、演武を紹介して盛り上げてくれた。最後の河村会長による巻頭言、手拍子、必死に踊る OB 諸氏、これは楽しかった。平均年齢〇〇歳の OB 会らしかった。

大学時代、研究室で大変お世話になった先輩に、演武会を見に来てもらった。「なにしろ感動した。久しぶりにある種の高揚感に包まれて帰宅した」と感想を頂いた。この得難い縁を作ってくれた初代と草創期の先輩方、そしてそれを今につないでくれた各代団員とチアリーダーのすべての人に、感謝したい。厳しい練習により培われた団員同士の深いつながりこそが、熊大



応援団が最も大事にしてきたものと思う。現役応援団も西本団長のもと、プレジーズの活躍を支えに、中村 1 回生という新たな力を得て、さらなる飛躍の道を歩み続けている。OB として声援を送り続けたい。



来年も参加します

11代 岡本 久男

50 周年の OB 会大いに楽しみました。翌日の朝ですが、筋肉痛です。しかし、久しぶりの演武会、懐かしい人たちとの再会、来年も参加します。

家族に見せたい、一生の宝

24代 村上 俊樹

私ども24代は、幹部3人(江島、牧野、村上)全員が今回参加させていただいた。応援団を卒業して26年経ちますが、「俺たちがいちばん若いんやから、俺たちが引っ張らんといかん」と1週間前に江島の家に集合し、約半日みっちり(?)新入団員の気持ちで練習しました。また、昼休みも演武や歌の練習、帰りの自転車で応援歌を口ずさむ毎日でした。当日、演武「翠巒」のリーダーの松本さん(16代)

は、「翠巒の6分は長いから端折る」との練習時の言葉とは裏腹に、本番では気合の入った演武をされ、1.5倍の長さになったと思います。四股立ちの足がプルプルでした。現役の頃、数多くのバックの演武を良くやったよと改めて思いました。48歳にして演武ができたことがあります。演武のDVDができたならば是非、家族に見せたい。私の一生の宝にします。最後に、今回のOB会を1年前からご準備していただきました中野先輩をはじめ、事務局の皆様、本当にありがとうございました。この日の感動を忘れずに、今後も日々精一杯取り組んでいきたいと思っております。次回のOB会が楽しみでなりません。



PS. 現役の時に大変お世話になった「大ちゃん」「メルモ」「もっこす」の大将とママ、見に来てくださってありがとう、感謝申し上げます!! 押忍

美声に酔いしれ

15代 宇治野 和範

あの感動の余韻に浸って一週間が過ぎました。演武会にはかみさん同伴でしたが、初めてみる演武に感激していました。私自身ももちろん感激しています。翌日は、久々の市電で本妙寺と水前寺公園に行きました。電停から清正公の像までの道のりは上り坂と階段で、足がガクガクとなり、昔は遅れながらも一応は走れた路を感慨深げに歩きました。多くの石灯籠などは倒れたままで、震災の悲惨さを物語っており、「頑張れ!熊本」と思わず口ずさんでしまいました。

私はボーイスカウトのカブ隊長をしており、昨日は合同キャンプファイヤーがあり、その中出し物をする決まりがあるのですが、準備が整わず、子供と一緒に白手袋をして「でんでんむし」を演じました。周囲からは好評で、アンコールの声もかかってしまったのですが、太鼓がなかったのが残念でした。久々のOB会、36年ぶりの演武、懐かしい先輩と後輩、そして友の顔。この余韻はなかなか止みそうにありません! 次回OBを楽しみにしています。以下は、OB会当日までの経緯を書いてみました。



懐かしい先輩と後輩、そして友の顔。この余韻はなかなか止みそうにありません! 次回OBを楽しみにしています。以下は、OB会当日までの経緯を書いてみました。

○9月4日(日)中野先輩からの入電

「易水」のリーダーをやってくれ!とのこと。一旦は辞退するも大先輩に断れるはずもありません。でも…実は「易水」は大好きな演武であり、現役の演武会では、これだけは譲れないと思った演武です。

○10月4日(火)台風来襲のための避難所当番担当で徹夜

初めてホームページで演武の確認。うろ覚えのままでは無理と再認識。「易水」の腕や脚の順番をメモ書き。「同期の桜」は…腕が…!

○(その後)通勤途中に、スマホで歌や型の再確認をしつつ出勤

昼休みも練習の日々です。皆から…「体操?太極拳の練習?」

○10月22日(土)首の牽引治療の後に…初めての一人カラオケ

「雨降らば〜」おおお!!声出るじゃん♪

曲をかけての「同期の桜」も、声出るじゃん♪

そりゃそうです!狭い部屋で声が反響してました…

○そして当日本番

めちゃくちゃ緊張していました…「大丈夫だろうか?」ここ何年も味わったことのない緊張、36年ぶりの演武です!2番の終り頃、何故か?左の耳から突然に、13代清水先輩の声が強烈にはっきりと聞こえ、その途端、バックの歌声を聴く余裕が生まれてきた。その歌声に酔いしれてしまった。次回の演武会は何時でしょうか?次はバックで「易水」を思う存分歌いたいものです。

一生懸命生きる

19代 梶島 正利

一生懸命な皆さん方を思い浮かべ、この言葉を嘯みしめている今日この頃です。



応援団という「文化」をこれからも大切に

6代 福岡 潤

前日雨の中で見た熊本城の惨状が、OB会当日の現役諸君の立ち振舞い、特に目の輝きによって私の



心から一時消し去られていた。

もう一度心身を鍛え直し思直に進んでみたい、私をそんな気持ちにさせてくれた。本当にありがとう!! どうかこれからも大いに語り"文化"を次に繋げてください。今回の成功に向け尽力された役員他関係者の皆様、ご苦労様でした!!

ありがとうの一言

7代 前島 光幸

人生の中のたった4年の絆が、40年以上経っても、色褪せない、気楽、安心、笑い、涙の感激・感動の1日でした。ありがとうございました。





突然の旗手にビックリと感謝

22代 松原 賢

皆さんが、幾年月を経て、あのころの体力はないとはいえ、たった2時間の練習で見事なまでの出来栄え、現役時代にどれだけ練習したかを知る思いがしました。会のはじめには突然のご指名で、びっくりしましたが、旗手を勤めさせていただき感謝です。旗手として、演武を真横から見ることができました。短い時間とはいえ、旧交を

温め、また現役の元気な姿を見ることができ、十数年ぶりのOB会を堪能し、60周年の時には今回以上の人数が武夫原に集うことができればと思います。そのときには妻と一緒に参加させていただきます。

素晴らしいOB会に感謝！

6代 遠山 栄二

中野さん始め役員の方々のおかげで、素晴らしい50周年が出来、ありがとうございました。写真集もこんなに沢山のものがあつたのかと、中野さんに感謝です。今回印象に残ったのは、午前中からいろん



な世代のOBが一緒に練習して演武会を行えたこと。今後のOB会でも、基礎体力(のマネゴト)ランニングなど、みんなで汗を流す機会があればと思います。

これからの現役支援を考えた…

10代 村瀬 弘幸

感動的なOB会でした。これまで以上に、皆様から元気と勇気をいただき、通常の生活に臨んでおります。RKKのテレビの映像でも私が放映されたこと、感謝感激です。OB・OG・現役団員のみなさま、本当にありがとうございました。

リーダー部の復活について私



案ですが、定年退職後のOBを中心に「シニア団員」として現役の要請に応じて、可能な範囲で活動への参加や演武の伝授を行う。私は、退職後、奈良大学のシニア学生になりましたが、現役学生と共に勉強する機会が多々あります。生涯学習の時代でもあります。OB会での演武会に参加して、現役とOBのコラボが可能と思いましたが、皆様のご意見をお聞かせください。

大成功のOB会をこれから生かそう

19代 木村 誠司

OB会お疲れ様でした。事務局の皆様の綿密な準備と進行により何ひとつ不自由なく大成功でした。ありがとうございました。うまくいった理由としてホームページおよび詳細資料(事前配布郵便物)を作成いただき活用できたことが挙げられると思います。また、学校関係者、マスメディアなど外部への発信は、今後の現役応援団の活動を盛り上げていく上でプラスになったと思います。



応援団の思い出は今も生きている

3代 古賀 正博

一昨日、福岡で筑紫丘高校の古希の同窓会がありましたが、この会も100人を超す参加者で盛況でした。4代目の沖君を探しましたが、残念ながら欠席でした。52年前に立ち寄り話を楽しむことができましたが、思い出はほんの少ししかありません。それに比べて



て応援団の50周年記念OB会では、あの4年間を詳しく思い出せました。話せば話すほど身近に思い出せて、つくづくこの応援団を選択してよかったと、当時決心をした自分に感謝しています。社会に出てもこの経験が大いに役立ち、部下の心根を察することが出来ました。そして今卒業をしていますが、何か人の役に立つ様な事を考え、応援をすることを心掛けている自分がいます。若い人にもこの経験を伝えて、いかにこのクラブが素晴らしいか知っていただきたいと思います。今後とも何年もこの会が開かれることを心より楽しみにしています。有難うございました!!!

素晴らしく、意義深い50周年記念OB会

5代 茅畑 篤

みなさん、お疲れさまでした。

素晴らしく、意義深い50周年記念OB会でしたね！卒業以来の懐かしい先輩方、後輩達とも



会えました。新入団員と話も出来ました。とても嬉しく、この上ない感激でした。RKKで放映されるとのことだったので荒尾に31日まで滞在して番組を見てから帰路につきました。

現役諸君には紫熊祭でチアリーディング部と一体となって、おおいに存在感を発揮され今後に繋がる機会となりますよう祈っています。バックの一人として駆けつけたい気持ちです！

22代 中村泰博の妻

管理人の中野様、熊本の地元で今回大変な震災の中、本OB会のご準備に奔走された方々、演舞に参加された方々、まことにお疲れ様でした。朝から受付を徹力ながら手伝いをして、先輩方、後輩の皆さん方の熱い思いに触れることが出来ました。今考えると、皆様ご存じなかったでしょうが、温かく接してくださいました。ありがとうございました。



私、体育会の幹事会でしたので、応援団のマネージャーでもありませんでしたが、応援団の活動が大好きで、よく練習を見に行っていた思い出があります。今回は、懐かしい演舞を一生懸命されているのを見て、この緊張感、迫力は昔から変わっていないと思いました。今回こんな機会に接することが出来て、とても感動しています。ありがとうございました。世代を超えて、応援団と言う文化は受け継がれていくものだ、感じました。

ただ、もう当日から、不肖ながら、主人は筋肉痛で階段も足が上がりず、コップを持つのもだるそうにしております。もう、長崎に帰りつきましては、そうそうに横になってしまいました。みなさまも、お体にはお気をつけて、ゆっくりされてください。できれば、この経験が次に繋がってくれることを期待しています。家のものも演舞のDVD楽しみにしています。とりあえず、みなさまにお礼を言うよう、主人が書きなさいというので、失礼しました。

今も心の昂ぶりを引きずりつつ余韻に浸っています

13代 清水 豪

OB会に御参加の皆様 お疲れ様でした。ありがとうございました。先輩、後輩諸氏の演武は、さすがに長いブランクの影響はさておき、「演武に託す思い」、「それを伝えようとする気迫」は色あせるどころか、改めて新鮮な感動を覚え、胸に迫るものがありました。祝賀会では、本当に久しぶりに会った方々と大変懐かしく話をさせていただきましたが、まだまだ話尽くせなかったのも心残りです。



今日、いつもの月曜日を迎えましたが、いまだに、心の昂ぶりを引きずりつつ余韻に浸っているような状態です。また次に会える機会を心待ちにしています。今回、御参加できなかった方も、来年のOB会には是非おいでください。あの一生懸命だった時代を思い出しながら、懐かしい時間を共に過ごしたいと思ったり、現役のみんなにもいろいろな伝説を伝えていただければいいなと思います。中野さん 何かから何までしていただいて大変ありがとうございました。

4代目 上城 洋一

50周年記念演武会では、まず現役のチアリーダー部の演技は、全国トップレベルのすごい迫力とスピード感等を間近で見られ最高であった。OBの演武は、各グループ共に予想を上回る出来上がりだった。事前にDVDで過去の演武を数回見たが、自分の時代とやや異なっており、演武も歌も覚えられずに当日を迎えてしまった。

メンバーの年齢もかなりの差があり纏まることは無理ではなかったが、意外や意外で、とにかく皆がグループとしてきっちり演武をやり遂げたいという気持ちが漲り、いろいろな問題点を解決していった。纏まりにくい部分は、今日はこの振り付けでいこうと今日バージョンを決めていった。何となく会社の仕事のやりくりに通じた感があった。本番の演武会では、心地よい緊張感と団結心で



何とかやり遂げることができた。特に自分もやっていた「勝利への拍手」のリーダーの中村さんの演武の切れは素晴らしく、自分の現役時代を思い出させていただいた。

演武会は1グループ3演武で、年寄でも何とかクリアできる構成で、とても良かった。進行役やシナリオまで、きめ細かな決め事、膨大な資料作成、参加者への配慮等もあり最高の裏方さん方であった。役員の方々がありがとうございました。次に今後のリーダー部復活への提案です。
①会員名簿の出身学部、高校を集計。多い学部、高校をターゲット。
②新入生の名簿を大学より入手し、上記と照合してする。

※個人情報であるので慎重に要するが、大学も現役応援団の存続を十分理解はしているはずである。副学長に相談しては？
③ターゲットの新入生へ面談（現役・OBも同席）を申し込む。

※過去の応援団の歴史等の資料、および大学の推薦状（もし無理であれば、体育会）等を用いて説得する。

④説得のポイントは、『熊大やその学生を愛する先輩方は、素晴らしい貢献をされておられます。あなたも応援団にて先輩方と同じ思いで同じ道を歩かれてはいかがですか？』

緊張感と幸せな体験

21代 山中 和之

太鼓ならなんとかなるだろうと、大した準備もせずに、体育館の入口に立ち、中からあふれ出す熱気に触れた瞬間に



大変なことを引き受けてしまったと後悔しました。とにかく自分の担当だけは出来るようにしなければと必死でリーダーと合わせて、あっという間に練習は終わり演武会が始まりました。その時の緊張感は、現役時代の演武会以上で、太鼓を叩き終わった時は、全身から汗が吹き出し、手にはうっすらとマメが出来ていました。こんな貴重な体験をもう一度味わうことができ本当にしあわせでした。

長い歴史が生み出す不思議な絆に魅せられて

33代 井手口 遥



終わってみればあっという間で、OB 会当日は準備期間の事を思い出しながら過ごしました。準備の為の会議は、私にとっては大、大、大先輩方々との交流の時間でもあり、仕事・家事・育児のつかの間のゆっくり食べられる美味しい食事（会議の後は飲みながら雑談！）の時間でもありました。一見何の共通点もないような人たちが、応援団

という絆で繋がっていることに、不思議な面白さと長い歴史の尊さを感じます。自分の現役時代はもう過去の話ですが、話をするだけで当時を思い出せる時間や仲間達ははとて大切で有難い存在です。ありがとうございました。



「365 歩のマーチ熊本バージョン」

9代 戸上 勝喜

皆さま お疲れ様です。

50 周年記念 OB 会が終わり、半月が経過しました。東京での単身生活に戻り、忙しい日々を過ごしています。11 月 14 日、東京熊本県人会に出席しました。知事をはじめ色々な方とお話をさせていただきました。宮崎美子さんとも立ち話をしました。

ところで、今、話題になっているのが、「365 歩のマーチ熊本バージョン」。会場でも画像が流れ、感動しました。

歌詞を紹介します。

熊本の明日へつづく 道をあなたは歩いてく
365 歩でダメでも さらに進もう一歩ずつ
人生はワンツーパンチ くじけぬ姿は美しい
思い出つまったふるさどが 再び輝くその日まで
腕を振って足をあげてワンツーワンツー うつむくな笑え
腕を振って足をあげてワンツーワンツー 休まないで歩け
うつむくな笑え

「ふるさと」を「応援団」に置き換え、歌ってしまいました。是非、ユーチューブでご覧ください。



熊本大学応援団創立50周年記念演武会

記念事業の概要

■スケジュール&参加者一覧

- 演武練習(10:00~12:00 熊大体育館) 60 人
- 応援団 OB 総会 (13:00~14:00 熊大体育館) 70 人
- 記念演武会 (14:30~16:20 熊大体育館) 130 人
(OB70 人 現役チアリーダー部 30 人 来賓/一般 30 人)
- 祝賀会 (18:30~21:00 メルパルク熊本) 110 人
(来賓：大学副学長・体育会本部委員長など)

■贈呈品・制作物一覧

●応援団新団旗・BLAZES 旗



2m×3m



1.2m×1.8m

●記念品 (参加者) (日本手拭)



180 枚



180 枚

●50 周年記念誌(160 頁)

220 冊制作



●50 年間 DVD 写真集

30 枚



DVD 演武会



●現役チア助成金(19 万円相当額)

●50 周年報告集

「OB 会だより」

※本印刷物



①不安とやる気の演武練習



記念 OB 会の一日を振り返る

前日の雨が嘘にみたいな天気となる。朝から熊本大学、武夫原の地が晴れわたる。全国から応援団 OB がぞくぞくと集まってくる。OB にとって待ちわびた 50 周年記念 OB 会の日である。特に熊本地震のため 5/7 から 10/29 に半年延びたので尚更である。

会場となる新競技場は応援団 OB には目新しい。我々が現役の時草むらであった場所に増築された競技場だ。午前 10 時、応援団 OB の演武練習や BLAZES の練習が始まると、あっという間に競技場内は熱気に包まれる。この練習風景を見ていると、記念 OB 演武会が無事に終わるかどうかの不安が"成功する"という確信に変わっていく。

集中しているせいか隣のグループの歌声や太鼓も気にならない。反復練習をして、演武のスピードや間の取り方のミーティングが熱心に繰り返される。だんだんと目の鋭さが増してくる。一回の演武で汗が噴き出す。体力の衰えを感じる場面もあるが、懐かしさと年甲斐もない高揚感で疲れを感じない。通しの練習で、とりあえず無難に 3 演武をまとめ上げる。技巧、声量、キレのどの部分においても、時の流れは残酷なものである。でも唯一上回るのが、白髪や少し太めになった体型と対照的な眼光の鋭さが、OB 演武会の魅力であろうか。練習を終えての昼食タイムでは、本番前ではあるが、何となく練習の充実がもたらす余裕の表情となる。体育館の玄関先で車座に座り込んで昔話を花を咲かせる。

②総会

総会も今回は体育館で行う。総会議案等の詳細は別途報告予定で、ここでは雰囲気をご紹介します。何たって、女子団員が 1 名入団したことはビッグニュースだ。この小さな、いや大きな芽を更に大きいものにしたい。この 50 周年 OB 会を契機にリーダー部復活を実現するために、OB の力を結集していきましょう。議案の概要…。特別会計もほぼ執行。思った以上に団旗制作が廉価に行えたため、いろんなことに使えた。BLAZES フラッグ、記念誌制作、ビデオ撮影、体育館での演武会設営などである。そして OB 会参加者約 80 人、運営費拠出 OB の賛同者 70 人、あわせて 150 人の OB の想いが一つになった OB 会になった。

28 年度の議案では、上記 150 人の想いが予算の余裕を生み出し、記念事業として恒例の現役活動助成費 5 万円⇒19 万円にアップすることができた。これは OB 会前の 10/1 の幹事会&現役との打ち合わせの中で、練習用マットの熱望していたことと結びついた結果である。OB 会当日のマットは皆さんも見られたと思うが、厚さは 10mm 程度…。購入希望のマットの厚さは 35mm だ。これなら練習中も安心できる。ともかく今のマットは薄くて落ちたら痛いと言っていた。記念事業にふさわしい、現役へのプレゼントが出来たと思う。



もっとも多くのチア学校様が導入されているサイズです！

チアリーディング競技用マット定番！！
チアリーディング フルサイズマット
長さ 12.8m × 幅 1.83m × 厚さ 35mm

③BLAZES&マーチングメロディー



総会の後は演武会である。第一部はチアリーディング&マーチングメロディーが繰り広げられる。総勢 30 人の華麗なる、リズムに乗った演技である。若さには笑顔が良く似合う。九州大会から全国大会にも出場しておりレベルも高い。体育館に作られた特設舞台によく映える。

チアの演技終了後は、創成期のチアリーダーの井手口さんから熱いメッセージが現役の団員に伝えられる。「私たちのチアが伝統のある応援団と一緒に活動できるのか？でも同じ志を持つリーダー部の方々と懸命に取り組んだ学生生活は充実していた。そして私たちを温かく迎え入れてくれた OB の方に感謝している…」リーダー部と一緒にマーチングメロディーでは、新しい女子団員も華麗なるパチさばきも見せてくれた。

④OB 演武第1部 易水・必勝・同期の桜

第一部の平均年齢は62歳、体は堅くなっているが、40年前の心意気で歌い演じる。最初を飾るのは「易水流れ寒うして」…。雨降らば雨降る思いに…裏巻頭言の独白も情緒豊かだ。バックも必死にハミングで盛り上げる。演じるリーダーは、15代宇治野さん…。

次は、体育会クラブの試合前の壮行会では必ず披露する「必勝の歌」だ。アップテンポで、勇猛果敢な歌詞で一番多く演じた演武の一つで、リーダーは9代の戸上さん、衰えることない声量で「フレー、フレー」と士気を鼓舞してくれる。次に演じるのは、「貴様と俺とは同期の桜♪…」と歌い踊る「熊大同期の桜」である。誰でも知っている歌を応援団風にアレンジした勇ましい演武だ。現役の時と比べて四股立ちは、ちょっと高め、腕をぐるぐる回すのは苦しいが、あとは気合でカバー、演じるのは6代の遠山さんだ。



⑤OB 演武第2部 翠巒・第3・惜別

第2部は若手で固めた（平均年齢51歳）。演武「翠巒」は16代が創作した演武であり、それ以後の世代を中心に集めた。その「翠巒」を演じるのは、16代松本さんだ。拍手ものの演武は、気合と一糸乱れない手の動き、そして勇ましい掛け声を見て欲しい。次は第3学生歌、腕をぐるぐる回さなければいけないので、かなりハードな演武だ。この演武も11代の岡本さんが手を挙げてくれた。気合と歌詞の素晴らしさを再確認させてくれる演武だ。

第2部の最後は、「惜別の歌」…。7代の時の創作した演武で、島崎藤村作詞の誰でも知っている歌だ。熊大応援団は、この歌を前半は拍手もの、後半は歌ものに仕上げた。昨年不慮の事故で亡くなったOBを追悼する気持ち込めて同期の19代木村さんが心を込めて演じる。



⑥OB 演武第3部 逍遥歌・実戦・椿花咲く

第3部の平均年齢は59歳。最初は「応援団逍遥歌」、詩吟で始まるこの演武は、熊大応援団の意気込みを表現している。誰のために練習をするのか、何の目的なのか…青春時代の葛藤を感じながらも日々の練習に励む気持ちを演じる。5代の茅畑さんの詩吟が久しぶりで嬉しい。次の実戦演武とは、1回生と2回生が、野球や水泳、バレーボールなどの応援に於いて声の限り、体力の限りにおいて演じていく。灼熱のインカレの応援も忘れられない。この演武はOBの総力で行う。Vサイン、メヒコ、でんでんむし&ワッショイ連呼、フレーフレー熊大を次から次に演じる。第3部のラストは「椿花咲く」…。現役の時は歌う事や演じることで精一杯だった

が、このOB記念演武会を迎えるにあたって、もう一度歌詞を読んでみると、明治の五高生の真髓に触れた気がする。「春弥生…」に始まる独白も心に残る。演じるのは6代の林さんだ。

⑦OB 演武第4部 勝利への拍手・田原坂・第2

第4部の最初は「勝利への拍手」…。単純な拍手と雄叫びで構成されており、「静」から「動」への緊張感があり、最後は勝利を勝ち取った喜びを表している。この体力を要するリーダーを演じるのは、22代の中村さんだ。ちなみにこの班の平均年齢は58歳。次は、雨は振る降る人馬は濡れる♪で始まる「田原坂」…。この歌をアレンジして応援団風の演武に仕立てた。静かな歌であるが勇壮な掛け声も途中に加わり、見る者に田原坂の情景を思いださせる。演じるのは、9代の荒木さん。そして、第2学生歌、熊大ああ、我らが学苑♪と歌い上げます。テンポの良く歌い続けるバック、気合の入ったリーダーのフレーの雄叫びが調和して、あっという間に3番まで歌い続ける。リズムが良いだけにバックの手の回しを揃えるのは難しいのだが、世代を超えて見事にあっている。演じるのは10代の村瀬さんだ。





⑧OB 演武第5部 第1・我が熊大・武夫原頭に草萌えて

もう最後の第5部を迎えた。平均年齢は、メンバーのうちの若手3人が思い切り引き下げてくれて平均55歳になった。最初の演武は、白銀の光あふれ♪♪で始まる「第一学生歌」…。多くの壮行会で歌い続けた記憶があり、その分OBになった今もその歌や演武は体にしみこんでおり懐かしく感じる。演じるのは、6代の福岡さんだ。

次は「我が熊大」です。昭和48年に学内で公募して熊大生が作詞作曲した曲に演武をつけました。第7代の時代のことです。当時としては新しい演武であったので一生懸命にリーダーとバックの動きを合わせる練習をしたことを覚えている。演じるは、今回の参加した中で、一番若い33代の安倍さんだ。

いよいよ本日の最後の演武、「武夫原頭に草萌えて」です。熊大生なら誰でも知っている演武です。でもこの演武会の後の祝賀会では、チア学生からは、バックで踊る「武夫原頭に草萌えて」を初めて見ましたとのこと。この踊りは簡単なようで結構、体力がいるし敏捷性も求められているのです。OBになってはつらい踊りだ。演じるは7代の河村さん(OB会会長)だ。

⑨コーナー司会ありがとう

30歳から60歳代までのOBが入り乱れて演武ができるかどうか不安に思っていたというOBも多かった。でも演武という共通項の絆は思った以上に錆びてなく、輝きそして新しい生命をOBに与えてくれた。午前中の練習の和気あいあいの雰囲気と本番の真剣さは多くの者を感動させた。その本番の緊張をほぐして盛り上げてくれたのが、司会の面々だった。最初に己の応援団への気持ちの発露は、全員の共感を呼びおこし、素晴らしい演武会を演出してくれた。ありがとう。



⑩鼓手・旗手も盛り上げた

そして、演武会をより盛り上げたのは、当たり前だけど鼓手と旗手…。世代によって異なるスピードを調整して、乱打や拍手もの間も見事に表現してもらった。特に山中さんには太鼓のリズム表まで作成してもらった。これも将来への大きな財産になろう。昔、鼓手だったOBからは「ボクは太鼓します」との申し出を受け、各班毎に練習時から太鼓に専念してもらえたのも良かった。

また、50周年記念事業で贈呈した「団旗」の晴れ舞台にもなった。団旗は昔の復刻版であり、目にも鮮やかな紫紺がまぶしかった。願わくば、我々の時代のように、壮行会や応援で、毎日のように武夫原にこの旗が高々と風になびくことを祈念するばかりです。



BLAZES フラッグ 50周年記念贈呈品

⑪ 祝賀会…演武会を讃え、現役との交流、旧交を温め、楽しい宴は更けていく





祝賀会…演武会を讃え、現役との交流、旧交を温め、楽しい宴は更けていく



参加者の笑顔

OBを5班に分けて15演武を演じた。午前中の2時間の練習は中身の濃いもので熱い想いを共有できた。時の流れを忘れ、若き応援団時代にタイムスリップすることができた。その時の笑顔です。



第1班「立田」 長谷・金子・戸上・田村・河口・清水・宇治野・渋谷・遠山・古賀・江藤



第2班「白川」 江島・池田・松原・堀江・村上・山中・木村・松本・梶島・北島・岡本・天本



第3班「龍南」 高石・阿南・森・安藤・平原・伊藤・中野・茅畑・林



第4班「蘇岳」 牧野・竹下・鬼ヶ原・佐藤・五十嵐
今村・上城・荒木・村瀬・中村・南

第5班「黒髪」 武藤・峯・前島・秋田・安倍・児倉・福岡・河村・戸次・島子



編集後記 50周年も無事に終わり、次の60,70年に向けて歩き始めた。この周年事業によって、熊大応援団の現状を共通理解できたと思う。また、せっかくの事業も年月が過ぎれば何をやったかな？と思うのが世の常である。ここに、記念演武会の詳細、祝賀会の笑顔を残すことによって、次の周年事業に繋げていきたい。全国各地のOBが集う、この会の発展を皆で考えていきましょう。

(HP 管理者:編集人 中野)